

2024年12月25日(水)

2370号 (毎月25日発行) (大阪版)

1950年12月16日第三種郵便物認可

1部160円 月額470円 (郵送料込月額120円)

平和新聞

発行 日本平和委員会

〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
電話 03(3451)6377 FAX 03(3451)6277

大阪版編集 大阪平和委員会

〒542-0012 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第三ビル210号
電話 06(6765)2840 FAX 06(6765)2837
E-mail:osk-heiwa@able.ocn.ne.jp http://www.osk-heiwa.org

大軍拡路線を改め、膨張し続ける 軍事予算にきっぱり歯止めを

大阪平和委員会会長 西 晃



新年あけまして
おめでと〜うございませす

物価高が続き先行き不透明な経済情勢のもと、税・社会保障負担制度を見直し、現役世代の手取り収入を増やす具

体策が求められます。他方で国・地方の税収減少と財源の負担・分担を巡り、世代間対立や地域間対立が強調されているようにも思います。「手取り収入を増やすためには自治体の公共サービスの低下もやむをえないと考えますか？」というような二者択一的な問題設定は本当に適切なのでしょうか。

今最も大事なことで、それは大軍拡路線を改め、急激に膨張し続ける軍事予算にきっぱり歯止めをかけることではないでしょうか。日米安保を聖域化してはなりません。

税・社会保障など国民全体の負担の在り方は、国民主権のもと、国会において徹底的に討議して決めていく必要があります。日本国憲法においても第7章「財政」のもと、

9か条にわたって詳細にこのことを明記しています。お金の集め方と使い道はそのままその国の民主主義の到達度を示すものだからです。

大阪平和委員会の皆様、本年もどうぞよろしくお願いたします。

沖縄連帯行動

12月13日10名で実施

12月13日正午から近鉄上本町駅前「沖縄連帯行動」をうたごえと共に10名の参加で実施しました。

亀井明子大阪平和委員会事務局長や大阪うたごえ協議会の立川孝信さんら平和遺族会の大島守さんがマイクを持ち、道行く人に「辺野古新基地建設ではなく、普天間の無条件返還を」「埋め立てに奄美大島の土砂を使うな」などと訴えました。

この行動を通して「辺野古新基地はつくるな」署名が45筆寄せられました。



6.9行動

12月6日 上六交差点

12月6日、上本町六丁目交差点で6.9行動を行いました。参加者は21人で13筆の署名との協力がありません。12月8日が太平洋戦争開戦日であることから、天王寺母親連絡会の赤紙配りと共同で行いました。日本被団協がノーベル平和賞を受賞したことのお祝いと、被爆者の「生きていくうちに核兵器廃絶を」の願いにこたえるため、日本政府は核兵器禁止条約に署名・批准を求める署名への協力を訴えました。



アメリカ領事館前行動

12月18日25名で実施

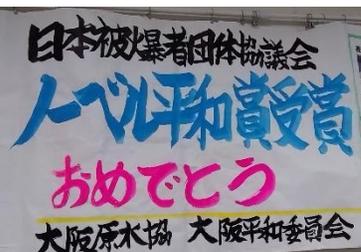
大阪原水協・大阪労連・大阪革新懇・大阪平和委員会の4団体が呼びかけ、アメリカ領事館前で、第13回抗議行動を25人の参加で行いました。原水協の橋口さん、年金者組合の中島さん、大阪革新懇の大原さん、大阪平和委員会の亀井さん、大阪原水協の三宅さんの4人がスピーチをしました。「アメリカはイスラエルへの軍事支援をやめろ」「今すぐ停戦を」「ガザの子どもたちに停戦のクリスマスプレゼントを」と抗議しました。最後にアメリカ領事館にむけて「イスラエルへの支援やめろ！」のコールをしました。



祝!

日本被団協ノーベル平和賞受賞
ヒバクシャに感謝し
ノーベル平和賞受賞を祝う

大阪原水協主催で、「被爆者に感謝しノーベル平和賞受賞を祝うつどい」が12月14日開催されました。被爆者の方、各団体から30名の参加がありました。被爆者の皆さんから、喜びのスピーチと、参加団体や地域からのお祝いの言葉で、ノーベル平和賞受賞を喜びました。



10月8日の佐藤弁護士の学習会
「戦争する国に向けて～変質する自衛隊」

のDVDができました。
自衛隊について
学習しませんか。
1枚500円です。
申し込みは大阪
平和委員会まで





11月24日 堺平和委員会

堺平和委員会総会と三上智恵監督の映画「沖縄スパイ戦史」の上映会を18人の参加で行いました。日本被団協のノーベル平和賞受賞を喜び、被爆80年に向けて堺でも平和運動を大きく広げることを確認。映画は、「もっと沖縄の歴史を知らない」と好評でした。1名の入会、平和新聞2部の購読がありました。



12月7日 生野区平和委員会

第25回生野区平和委員会総会を5年ぶり、13名の参加で開催できました。総会の1部で、辰巳創史弁護士は「戦争の準備ではなく、平和の準備を」の講演で、「抑止力」では平和はつukれない。憲法9条こそが世界の平和を作るカギと話されました。「生野区ならではの委員会を作りたい」「仲間増やしガンバろう！」などの意見が出されました。



平和委員会の真骨頂は地域にあり 各地域で総会開催

12月15日 吹田平和委員会

吹田平和委員会の総会を開催しました。総会後は、吹田空襲の会のガイドで、JR吹田駅前の戦跡めぐりをしました。吹田市がかつて軍事都市であり、軍需輸送の一大拠点だった所をめぐりました。参加者から「吹田の地下弾薬庫跡地に行きたい」「敦賀平和ツアーしたい」との声がありました。17人の参加者で、うち1人が入会し、新聞が1部増えました。



12月22日 西淀川平和委員会

西淀川平和委員会総会を開催しました。総会の後、ジャーナリストの西谷文和さんを招いて「紛争地からみた憲法9条 ウクライナ、ガザ、大阪の今」の講演をしてもらいました。44名の参加で、その3割が初めての方で、今後の取り組みが楽しみです。懸案だった会計担当者も決まりました。



大阪平和委員会の副会長、その後常任理事をつとめられた清水節子さんが、11月21日になくなられました。(91歳) 清水節子さんは1933年3月6日、鳥取県の奥大山の麓で育ち、1948年大阪鉄道病院高等看護学園入学、卒業後は鉄道病院で看護婦として働き、当時の国鉄労働組合運動やストライキにも積極的にかかわって、労働者として看護師としてのちと女性の働く権利の基盤をきづいてこられました。その後、堺の耳原病院で勤務することとなり、指導者として後輩育成に頑張つてこられました。一貫して戦争に反対し、1970年から平和委員会の会員として、又、大阪平和委員会の事務所がある新谷町第3ビルの住人として、積極的に機関紙づくり、学習教育の分野にかかわつてこられました。若い時につちかっただ指導性を発揮し、橋本教会長のもと2003年



清水 節子さんのご逝去を悼みます 大阪平和委員会元副会長

から2006年まで大阪平和委員会年の副会長をされ、その後は常任理事として平和新聞の作成にがんばつてこられました。戦後の女性活躍の先頭を走つてこられた清水さん、ありがとうございました。



【1月の行事案内】

- 6日(月) 6・9行動 12:00~上本町六丁目交差点
- 8日(水) 第3回理事会 18:00~ オンライン併用
- 9日(木) 9の日宣伝
- 15日(水) 沖縄連帯行動 12:00~ 上本町六丁目交差点
- 17日(金) 関西ブロック会議 14:00~
- 19日(日)核兵器禁止条約発効4周年宣伝 12:00 あべのキューズモール
- 22日(水) 組織委員会 18:00~オンライン併用
- 24日(金) アメリカ領事館前行動 12:00~
- 25日(土)~26日(日) 関西原水協学校 in 京都 嵐山花のいえ
- 26日(日)平和を考える講演とうたごえのつどい 13:45 松原市文化会館